

### 質問項目

- 1 TA／SAをやってみようと思ったきっかけ
- 2 TA／SAに関連する活動で印象に残っている出来事
- 3 TA／SAを経験して変化したこと、成長できたこと
- 4 TA／SAになってみようと思っている学生へのメッセージ

## I.D

### 統計学A

- 1 統計学の知識をより深めることができると思ったため。自分のティーチングスキルを身に付けるとともに統計学は難しくないということを受講生に知ってもらおうと思った。
- 2 試験対策講座において受講生に感謝されたこと。
- 3 人前に立って話すことが苦手でしたが、少し楽に話すことができるようになりました。
- 4 人に教えることが好きな人は是非。

## S.Y

### 統計学B

- 1 昨春学期後に得田先生から直々のお誘いで。先輩方もSAをやっていて憧れもあったし、返答に迷いはなかった。
- 2 今期の3回生SAは科目を問わず仲が良く、学習スペースが毎日のようににぎわっていたこと。他の学年はあまり科目を越えたつながりがないように見えていたので、そうした点で僕らは歴史を変えたのだと思います。(笑) SA以外でも学習スペースに居座る人もいて、今期はとにかく楽しかった。
- 3 大勢を前にしても臆さず話せるようになった。相手が「何を求めているか」を考えて話すようになった。雑談力。
- 4 「塾講師」は、自分より年下の学生に教えます。ですが、このSAという仕事は自分と同年代、また年上の学生にも教えることもあります。こうした経験はSAでしかできません。本当に貴重な経験だと思います。敷居が高いとか、忙しそうとか言わずに、SAの世界に足を踏み入れてみませんか？  
山崎さんへー先輩とキスマイトーク、声優トークなど、今期は本当に色々な話ができて楽しかったです。本当にありがとうございました。  
同回SAへー今期は少し騒ぎ過ぎたね。来期はもっと暴れるぞ。

## S.K

### マクロ経済学B

- 1 1回生の時に初めてコアセッションの授業を受けた時から自分も教える側に立ってみたいと思っていたから。
- 2 同科目、異科目問わず、2016年春学期SAは意識の高い人が多くて、学習支援室での時間が日々いい刺激になりました。テスト対策講座に133人も来てくれたのはうれしかったです。
- 3 自分が授業を受ける時にどのような授業がわかりやすいか考えて授業するようになった。マクロ経済学についてSAをする前はほとんど理解していなかったが、人に説明できるようになるまでレベルアップできた。
- 4 「やってみたい」という気持ちと自分の授業に対して責任を持てる人にやってほしいと思います。大学で自分の授業を持つという経験はこの機会を逃すと一生ない人が多いと思うので、大人になってからも話のタネになるとと思いますよ。

## T.Y

### 簿記会計A

- 1 野田先生に勤めて頂いたことがきっかけです。
- 2 受講生の皆さんが集中して講義を聴いて下さって、嬉しかったことが印象に残っています。
- 3 最初の頃は、緊張してうまく話せませんでしたが、後半になるにつれてスムーズに話せるように成長出来ました。
- 4 少しでも興味のある方は、まずは応募して、とりあえず半期されてみるのが良いと思います。

## K.M

### 簿記会計A・B

- 1 私はサークルの先輩から勧められてS Aに興味を持ちまして、プレゼンテーションが好きだったのでS Aに応募いたしました。
- 2 受講生の分からないところを解説した際に「先輩の説明、とても分かりやすかったです」とおっしゃっていただいたことです。
- 3 S Aとなって初めてのコアセッションでは受講生の方を見ることができずに、手元の資料を見ながら解説してしまいましたが、回数を重ねていくことによってしっかりと受講生の方を向いて解説することができるようになりました。S Aを経験して変化したことは大勢の人の前で臆することなく話すことができるメンタルの強さです。
- 4 ほとんど年齢が変わらない大勢の学生の前に立って解説を行いますので、S Aに応募することはハードルが高いと感じる方が多いと思います。しかし、案外大変なのは最初的一步、応募するときだけです。T A/S Aの方々は真面目で、大学生活を楽しんでいるため、分からないことや困ったことがあれば優しく一緒に考えてくれます。また、コアセッションで教えるためには自分が教える内容を理解していなければならないため、必然的に担当科目について詳しくなり、その分野についての成績が良くなること間違いなしです！T A/S Aという貴重な経験を積めるのは長い人生においてたった2.3年です。他の学生と違った経験をしてみたい方や、大学生活にもっと刺激が欲しい方はぜひ、T A/S Aに応募してみてください。

## M.T

### 簿記会計A

- 1 友人からの勧誘
- 2 自身での資料作成、大勢の人間の前での長時間の講義
- 3 多対一での状況に慣れた。
- 4 非常にやりがいのある仕事です。加えて、減多にない経験をする事ができます。もし少しでも興味があるのならTA/SA経験者に話を聞くなどをし、可能ならばなってみることをお勧めします。

## K.T

### ミクロ経済学B

- 1 ミクロ経済学の知識を深めたかったのと、人前で話す経験を積んでおきたかったのだ。
- 2 初めてSA同士で飲み会をしました。
- 3 去年と比較すると、教壇に立って話す時に全く緊張しなくなりました。ある程度の緊張感も必要だと思うので、上手くバランスを取っていかれたらと思います。
- 4 しんどいことも多いですが、得られるものも多いお仕事だと思います。是非やってみてください。

## K.H

### 統計学A・B

- 1 先生に誘われたため
- 2 授業の準備、質問待機
- 3 人前で話すことと、その科目の理解が成長した気がします。
- 4 科目の学問的理解の程度は高いほど良いですが、並程度でも務まると思います。人前で教えることを経験したいならやれば良いと思います。

## K.T

### 簿記会計A

- 1 去年1年間SAをしていたため。
- 2 授業準備。どう解説すれば、分かりやすく伝えられるかを考えた。
- 3 教える自分自身も、簿記をより深く学ぶことができたと思う。
- 4 就活ではSAの話をしてました。割とウケがいいので、迷ってるならぜひSAやってみてください。

## R.K

### 簿記会計A

- 1 指導先生は今学期の簿記会計Aの担当先生なので、そういうシステムを紹介していただきました。今院に入って、会計に関して勉強していて、できれば勉強した知識を活かしたいと思っているので、TAを応募しました。
- 2 自分が知ったことを他人に教えることが難しいと思います。学生さんがわかってもらうために確かにいろいろな事前準備をしなければなりません。この半年に行って、説明方が少し良くなってきたなと思います。
- 3 この半年のTA経験は貴重な経験になりました。本当に成長できると思います。他のSAさんも非常に優しく、最初は確かに心配がありますが、担当先生とSAのお助けのもとで無事に過ごせました。挑戦したい人はぜひやってみてください。

## S.T

### 簿記会計B

- 1 ①部活の先輩がSAをやっていたため興味があったから。②人に教えることが好きだったから。
- 2 解説する内容が少なく、時間が余ったため、急遽小テストの解説を行ったこと。
- 3 こだわり強く取り組むことも大事だが、こだわりすぎることはよくないということに気が付けたこと。
- 4 先生方、支援室の方、同じSAの方、受講生など、多くの人との関わりを通して幅広い人材に成長できる場だと思います。ぜひ、その環境を有効に使って、成長してください。

## Y.M

### 統計学B

- 1 人前で何かするのがわりと好きな方なので、昨年に引き続き継続することにしました。もともとのきっかけは、先生にお声をかけていただいたからです。
- 2 授業以外での交流です。廊下とかですれ違ったときに、あっ！SAの人だ！って感じで挨拶してくださるのがとても嬉しいです。
- 3 教えることで、さらに理解が深まり、自分にとっても勉強になることがたくさんありました。
- 4 悩んでいるなら、別に無理してやらなくても良いと思います。やりたいと思えたときに挑戦してみてください！

## K.T

### 簿記会計A

- 1 先生に誘われたので。
- 2 準備の大変さ。
- 3 人前で話すときに緊張しなくなった。
- 4 やってみると色々と成長できる。

## S.Y

### 簿記会計A

- 1 商業高校出身で、高校の時から簿記を友達や後輩に教えることがあり、その知識を生かしたいと思ったから。また、大勢の人の前で話すことへの抵抗をなくしたかったから。
- 2 第一回の授業は緊張しすぎて汗だくになりました。授業は序盤、黒板とパワーポイントを使用していましたが、効率良く授業を進められないと感じ、事前準備は大変ですが、パワーポイントのみで授業を行いました。毎回、作成したパワーポイントのスライド資料を学生に配布すると、「分かりやすい!」と喜んでもらえ、とても嬉しく思いました。また、授業回数が進むにつれて、欠席者が著しく減ることもなく、授業をするやりがいを感じることができました。
- 3 人前で言葉を伝えることへの抵抗がなくなったし、何事にも臨機応変に動いたり、話したりすることができるようになりました。
- 4 SAをするかしらないか、わたしも迷いはありましたが、おもいきってやってみてください！確実に良い経験になると思います。

## S.M

### 簿記会計B

- 1 SAの先生がゼミの先生でもあったため、いい機会だと思い挑戦しました。
- 2 試験にて、生徒の役に立つと思い自分の考えた方法で、生徒が問題を解いているのが見えたとき、感動しました。
- 3 まず、ゼミでの発表などでも自信をもって挑めました。人前に立つとき、以前では考えられない程、心に余裕ができたと思います。
- 4 SAと教えることは、先生として生徒に教える以上に自分自身が学べる絶好の場です。また頑張った結果、失敗してもそれほど怒られることもありません。是非やろうか悩んでいる人は、この成長できる機会を活かしてください。

## S.Y

### マクロ経済学B・ミクロ経済学B

- 1 もともと所属するサークルでコア科目を教えていたので、その経験を活用したかった。
- 2 自分で作ったパワーポイント資料がSAの間でも好評だった。資料作りの自信がついた。
- 3 教えることを通して、ミクロ経済学やマクロ経済学への理解が深まった。
- 4 教えることは自分が理解することでもあるので、コアの内容を深く理解したい人にもおススメです。

## I.M

### マクロ経済学B

- 1 前学期にミクロ経済学A、マクロ経済学AのSAを担当していたため。
- 2 授業終わりや質問待機の時に毎回質問に来てくれる学生さんが居て、その学生さんの勉強に対する熱心な姿勢に感銘を受けると共に、自分自身も勉強に励んで、更なる向上をしなければならないなと思いました。また、生徒間における数学力に大きな隔たりがあることを強く感じ、より個々人の数学のレベルに合わせた解説ができたのではないかと今学期のSAが終わってから反省しました。
- 3 前学期にSAを経験していたため、今回は前回の反省を生かしながら授業を構成していこうと強く意識をしながら授業計画を行っていました。具体的には、配布資料と板書と口頭の比率やメインターゲットとなる学生層の選定など、授業を受け持つ教室に来てくれる生徒が最大のメリットを受けることができるようになるための環境づくりに特に配慮しました。また、今学期のSAの経験は非常に私自身の成長に大きく貢献したと思います。なぜならば、前学期よりも、より丁寧な授業を行おうと心がけていたため、必死になって授業の予習をし、また織田先生に意見をいただいたり、他のSAと意見交換をしたりと自分から能動的に動くという姿勢を身に着けることができたと思うからです。
- 4 SAの活動をしていくにあたって、人に何か物事を伝えるということに喜びを感じることができる人が向いていると思います。またその際に、目の前の学生さんの「わからない」という悩みを「わかる」という喜びへと昇華させてあげるために如何に自分自身の持てる力を発揮するか、また如何に真摯に向き合えるかということが重要になってくると思います。普段の生活の中では中々得ることのできない刺激を得たいという方は、ぜひSAの活動をされてみてはいかがでしょうか。また自分自身を研鑽していきたいという方にも、緊張する場面で経済学の内容を話していくという経験は非常に有益だと思いますので、オススメです。